

*** マーチングアカデミー塾 in 東北 ***



日 時

2017年4月18日（火）14時30分～17時30分

場 所

コニカミノルタジャパン 東北支店会議室（仙台市青葉区一番町1-2-25）

概要



日本を再発見「絵旅日本」 + YORIP
 マーケティングアカデミー塾 in 東北
 全国のマーケティング委員会が地域産業と繋がり、新しいまちづくりのためのプラットフォームを創る

450名

日時 **2017.4月18日(火) 14:30~17:30**
 会場 **コニカミノルタジャパン株式会社 東北支店 会議室** 【懇親別】仙台城ホール(懇親)

実施内容

- ・開会挨拶 (仙台マーケティング委員会 代表 佐藤 克行)
- ・17年度 推進事項について (マーケティングアカデミー 塾長 利根川 英二)
- ・マーケティング委員会とYORIPの連携
 (利根川塾長 & DNP社 YORIP事業推進部 副部長 熊坂 浩明 様)
- ・in Japanの今後の展開 (マーケティング委員会 理事 瀬田 章弘)
- ・事例紹介: 仙台マーケティング委員会 代表 佐藤 克行、津軽ひろさきマーケティング委員会 代表 漆澤知昭、山形マーケティング委員会 事務局 加藤 憲二

特別企画

- ・会場: 助六寿司 (仙台市青葉区国分町2丁目2-15 助六ビル)
 TEL.022-222-0353 時間: 18:00~20:00 会費: 5,000円

コニカミノルタジャパン株式会社 東北支店
 住所: 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-2-25 仙台NSビル2F
<http://www.e-map.ne.jp/PKONICAG/dl/013100H>
 ●JR: 仙台駅 西口・中央口より徒歩10分
 アクセス
 ●地下鉄: 仙台駅 南1番出口より徒歩10分

DNP社の「よしみちアプリ」で「よしみち」を楽しむ!
 ダウンロードはこちらから!

お問い合わせ 一般社団法人マーケティング委員会(事務局)
 TEL:03-3811-1440 090-2906-1110(直通) FAX:03-3811-1230
 E-mail: injapan@machi-ing.jp URL: http://machi-ing.jp/

スマホでチェック
 in Japan Web Itz

次 第

1 開会		
1 1 挨拶	マーケティング委員会 理事長	井上 雅博様
	仙台マーケティング委員会 代表 株式会社孔栄社 代表取締役	佐藤 克行様
1 1 7年度推進事項について	マーケティング委員会理事 マーケティングアカデミー塾長	利根川英二様
1 DNPの「YORIP」とマーケティングのコラボについて	マーケティング委員会理事 マーケティングアカデミー塾長 大日本印刷株式会社 YORIP事業推進部 副部長	利根川英二様 熊坂 浩明様
1 絵旅日本「in JAPAN」の次号展開について	マーケティング委員会 理事	瀬田 章弘様
1 会員事例紹介	仙台マーケティング委員会 代表 株式会社孔栄社 代表取締役	佐藤 克行様
	津軽ひろさきマーケティング委員会 代表 有限会社 アサヒ印刷 代表取締役社長	漆澤 知昭様
	やまがたマーケティング委員会 事務局長 株式会社 大風印刷 係長	加藤 憲二様
1 閉会		

東北ブロックの会員企業及びオブザーバ企業の方々が仙台に集結し、マーケティングアカデミー塾in東北が開催されました。
 出席者総数：30名(会員：6会員12名、オブザーバ：5名、協賛企業:7名、本部：6名)

役員挨拶及び今年度事業方針説明



挨拶：井上理事長



挨拶：佐藤代表



17年推進項目説明：利根川塾長



inJAPANの今後の展開：瀬田理事

YORIPのご紹介

DNP YORIP事業推進部副部長 熊坂浩明様



YORIPアプリは街の魅力を広げるサービスです

YORIP

YORIPは「よりみち」+「TRIP」
メジャーな観光情報だけでなく地域の魅力が詰まったDEEPな「よりみち」を発掘・集積するサービスです。
地域の魅力を発掘し周遊を促す「よりみちポータル」アプリをメディアとして提供しています。

YORIPアプリ5つの機能

- 1. おすすめコース**
YORIPが選んだおすすめコースを掲載しています。
- 2. よりみちスポット**
地域の魅力が詰まったよりみちスポットを掲載しています。
- 3. 現在地から**
現在地から近いおすすめスポットを掲載しています。
- 4. アクティビティ**
地域の魅力を活かしたアクティビティを掲載しています。
- 5. グallery**
アプリを通して地域の魅力を発信しています。

登録地域

全国のよりみちポータルを稼働することで、日本全国のスムーズな観光促進を実現します。

15都道府県
2500スポット
120観光コース

参考価格

コンテンツ制作費 YORIPアプリ版	地域	プロモーション DNP 地元	レポート DNP 地元
230万円			

DNP

YORIPを核とした拡販プロモーション

YORIP × 1. 周遊バス (※導入例: 豊田区)

YORIP × 2. ご当地タレント (※導入例: チームしやほこ)

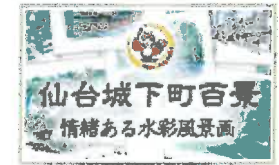
YORIP × 3. 施設 (※導入例: 野村不動産)



地方創生事業で
収益獲得

DNP



事例発表1：仙台マーチング委員会 佐藤克行様(孔栄社)




仙台城下町百景
活動報告と事例紹介

 2017年4月18日
 仙台マーチング委員会

「イラストハガキ」設置箇所



- 再興城 本丸会館
- レオパレス仙台
- 秋保温泉 岩沼屋
- 仙台空港
- 文具の社 x 5店舗

「仙台朝市通信」設置箇所：朝一各店舗・浜仙台駅ビューファ




「仙台朝市通信」とは、

「仙台マーチング委員会」は、仙台の台所として知られる仙台市青葉区の仙台朝市の魅力をPRする季刊のフリーペーパー「仙台朝市通信」を2014年12月に創刊した。

多彩な生鮮食材を元気に売り込む朝市加盟店主らの表情や朝市の雰囲気や温かみあふれる水彩画などを通して伝えている冊子です。

- ・4サイズで8頁、年4回発行。
- ・毎月約2,000部をJR仙台駅の観光案内所や仙台朝市加盟店に設置。
- ・各ページを彩る水彩画は仙台を拠点に活動する画家の土橋征史氏が担当。

見ているだけで朝市に行きたくなるフリーペーパー！



掲載は2年連続で日本タウン誌フリーペーパーの最優秀賞を受賞(2016年はダブル受賞)した。業界でも非常に注目されているフリーペーパーです。

仙台城下町百景について

仙台LOVE！仙台を自慢しよう。あの街角、あの通り……どこか愛おしくて、あったかい。私たちが暮らす仙台は、世界にここだけ、かけがえない自慢の街。地元へのそんな想いと、明日への希望と、そして少しだけの恋恋しい愛を込めて城下町仙台の100の景色が、爽やかな水彩イラストになりました。

イラストは人の心を惹きつけてくれる！



イラスト制作はバランスが必要です。

- ・所有イラスト総数3割は地元の名産品がわかる。次の3割は県内産品がわかる。
- ・最後の3割は誰でもわかるイラストと心がけてあります。

仙台の近況、観光ビジネス



2017年 伊達政宗生誕450周年

仙台七夕まつり開催8月6、7、8日 伊達政宗の時代が再現、日本一の七夕

今年、伊達政宗生誕450周年で、宮城県、仙台市とE、記念イベントを全面に押し出し、週末には例年以上に、仙台のまちに国内外の観光客が訪れているようです。これから、GW・七夕まつりの時期と、大変な賑わいになると思われ、楽しみです！

「イラスト」ギャラリー常設事例。



再興城 本丸会館

仙台駅東口 レオパレス仙台

浜仙台駅 朝一各店舗

秋保温泉 岩沼屋

ホテルでは観光案内のPOPを置いてもらうだけでなく、カウンターでお客様へ販売力をかけたときにこそ3割の1！

事例発表2：津軽ひろさきマーチング委員会 漆澤知昭様 (有)アサヒ印刷所




津軽ひろさきマーチング委員会
 ひろさきひとまち百景
活動報告
 マーチングアカデミー塾in東北
 2017. 4. 18 コニカミノルタジャパン株式会社 東北支店



市民参加型まちづくり1%システムとは

個人市民税の1パーセント相当額を財源に、市民自らが実践するまちづくり、地域づくり活動に係る経費の一部を支援する、公募型の補助金制度です。

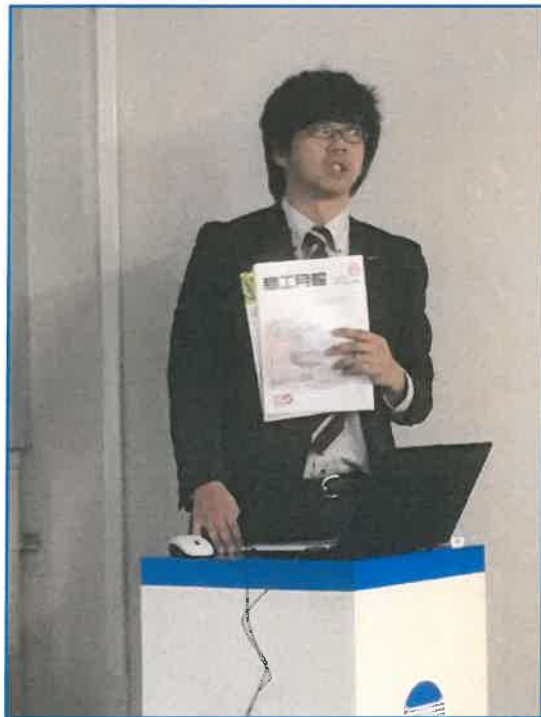
平成27年4月に、「協働によるまちづくり基本条例」を施行しました。この条例に定められた、まちづくりの基本的なルールをもとに、市民等・議会・執行機関の3者が、協働で「市民の幸せな暮らし」を実現するために取り組んでいます。

また、町会やNPO、学生やボランティア団体をはじめとする市民活動団体などが、自らの地域を考え、自ら実践することにより、地域課題の解決や地域の活性化につながる活動を支援し、協働によるまちづくり・「市民力」による魅力あるまちづくりの推進を図っています。

みなさんのアイデアや経験を活かした事業の応募をお待ちしています。



事例発表3 : やまがたマーチング委員会 加藤憲二様 ((株)大風印刷)



やまがたマーチング委員会
活動報告と事例紹介

山形新聞社 創刊140周年記念企画「やまがたふるさと絵はがき」

山形新聞社、その後の展開へ

「やまがたふるさと絵はがき」がとても好評で、山形新聞社内でも話題となっているため、山形新聞社の旧・新社屋のイラストを描き、創刊140周年記念のお祝いとして寄贈しました。また、第69回新聞大会が山形市で開催されるので、その印刷に利用していただきたいです。

やまがたマーチング委員会の主な活動

開催場所	開催期間	内容
山形銀行本館 ロビー	2016年3月7日～18日	展示のみ
山形県工芸館所 ロビー	2016年2月1日～12日	展示のみ
山形銀行山形支店 ロビー	2016年1月12日～29日	展示のみ
荘内銀行山形本店 ロビー	2015年12月8日～2016年1月7日	展示のみ
貴社内録画	2015年11月19日	展示のみ

山形新聞社 創刊140周年記念企画

山形新聞社、その後の展開へ

販売店・販売所が一気に急増した創刊140周年記念イベントの記念品として、創刊140周年記念のお祝いとして寄贈した、山形新聞社の旧・新社屋のイラストを使用したオリジナルラベルの赤・白ワインが採用され、出版した販売店・販売所の皆さんに贈られました。記念品を届けられた方から、レタ色の旧社屋が懐かし、とても良い印刷をいただいたとお褒めの言葉をいただいたそうです。

山形商工会議所様 創立120周年記念 商工月報

山形商工会議所は今年10月21日に創立120周年記念式典・コンサートと祝賀会を開催します。今回、商工月報に使用したまちなみ百景のイラストを使用、または描き下ろしたものを記念式典・祝賀会の記念品として山形商工会議所の会員である3つの道型とマッチングしたオリジナル日本酒を提案しているところです。

山形新聞社 創刊140周年記念企画「やまがたふるさと絵はがき」

配布スケジュール

企画スタート月、開催で多くの目にとまる8・12月、消費税率対策として1～5月に3枚、その他の月に2枚、毎月中～下旬の集金時に販売員が直接配布することで、接客が苦手な販売員でも購読者とコミュニケーションが取りやすくなります。35市町村(人口が多い市は2枚)全てのイラストが揃うため、次に展開しやすい。

受講状況と集合写真



情報交流会

助六寿司(青葉区国分町2-2-15)



左端 仙台の佐藤代表



中締め：大風社長



右から利根川塾長、井上理事長、埼玉学園大の柴田先生



左からあきた五嶋代表、仙台佐藤代表



東北の会員と本部役員との集合写真



自己紹介：青い森の長尾さん